

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2010年10月★第90号

『Kスタ宮城エコ体験ブース』



エコ検定中、
難しいかな・・・



自転車発電でミニ四駆を走らせました！

自転車発電に夢中です！

日時：8月3、4、10、11、12日

16：00～20：00

場所：クリネックススタジアム宮城

今年は猛暑の中の開催となりましたが、たくさん子ども達が自転車発電やエコ検定を体験しました。順番待ちをするほど好評でした！

MELONとは 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称『MELON』。
1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1.-3. 夏休みイベントレポート
- P1 「Kスタ宮城エコ体験ブース」
- P2 「めざせ★バガルタ仙台エコサポーター！」
- 「石巻施設見学ツアー」
- P3 「親子でエコ・クッキング」
- P4 EPO東北通信
- シリーズ かんきょう読み聞かせ
- P5 協同組合のコーナー
- MELON20周年を目指せ！
- 50人リレートーク
- P6 MELONcafe プチ講座レポート
- 「エコフェスタ2010」出展レポート
- P7 ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P8 投稿欄、イベント一覧、編集後記

『めざせ★ベガルタ仙台エコサポーター！』

日時：7月27日(火) 16:00～21:30
場所：ユアテックスタジアム仙台
参加者：38名

親子20組（総計40名）の募集に対して倍以上ものご応募があり、J1に昇格したベガルタ仙台の人気と世の中のエコへの関心の高まりを実感しました。

この企画の内容は、スタジアム見学ツアー・ごみの講座を通してベガルタ仙台が行っている環境の取り組みなどを勉強した後、実践学習としてエコステーションでサポーター

にゴミの分別を呼びかけました。エコステーションに来たサポーター達は、子ども達の呼びかけに答えてしっかりゴミの分別をしている様子でした。試合終了後は観客が座っていたシートの周りのゴミ拾いをしたのですが、多くのゴミが残っているのに子ども達はびっくりしていました。

参加後のアンケートでは、子どもたちが以前より家の中のごみの分別に興味をもった様子で進んでお手伝いをしてくれるとの声が多くありました。

来年もまた、エコサポーター達に会えることを楽しみにしています。



一生懸命分別を呼びかけました



ベガッ太くと記念撮影しました！

『石巻施設見学ツアー』

～日本製紙工場・東部浄化センター～

日時：7月30日(金) 8:15～16:00
見学会場：日本製紙株式会社 石巻工場
 石巻東部浄化センター
参加者：16名

日々の暮らしの中で、大量に使っている紙や水。それらは使った後、いったいどうなるのか、を知るための見学会を開催しました。

日本製紙工場では、私たちが分別して出した紙類が回収され、新たに紙として生まれ変わります。しかし、回収された中には、リサイクルできないビニールコーティングされた雑誌の紙や、ノートのプラスチック製の表紙、



目を凝らさないと見つけれられない汚れても製品にならない

中には鉄くずも含まれていました。意外に厄介なのが、茶色の紙ひもです。白い紙ひもは良いのですが、色がついている紙ひもは、紙の中に溶けて練り込まれて点々と汚れのように

残ってしまいます。その紙は商品にはならず大変困るのだそうです。

その他にも日本製紙工場では、大量の水を使うため浄化設備を完備し、また紙には使えない端材でバイオマスボイラー発電し、工場の電力をまかなうなど、企業努力が伺えました。

浄化センターでは、汚れた水を小さな微生物が地道に分解しているため、人が様子を見ながら調整しています。「人も微生物も同じです。私たちが食べられないものは、微生物も食べられません。」大量の油や、洗剤、薬剤などは微生物を苦しめているんですね。

きちんと分別すること、水を汚さないようにすることの大切さを実感する講座となりました。



下水を浄化してから海に流します

『第1回 親子でエコ・クッキング』

日 時：8月21日(土) 10:30～14:00
 場 所：仙台市ガス局ショールーム
 「キッチンパレット」
 参 加 者：8組の親子（大人8人、子ども10人）
 メニュー：ドライカレー、コーンスープ、
 スティック春巻

環境に配慮した食生活を体験するために、親子でエコ・クッキングを開催しました。「エコ・クッキング」は買い物から始まり、調理中のガス・水を無駄にしない調理法、ごみをなるべく出さない調理法です。

ごみ減量プロジェクトメンバーの昆野加代子さんが主旨を説明したあと、ガスサロンで最新のエコガス器具を見学し、エコクッキングに挑戦しました。

講師の長山恵理子さん（仙台市ガス局管理栄養士）からの説明後、なるべくごみを出さないようにするため、なすのヘタをそぎ切り※にしたり、にんじんはよく洗い皮のまま調理していきました。（※包丁を斜めに入れて、そくようにして切る切り方）

子どもたちも真剣に野菜を切り、春巻きの皮に具を包む作業をしました。小学1年生も一所懸命に玉ねぎやピーマンのみじん切りに挑戦し、最年少の5歳のお子さんも手伝いました。

また、全自動ガス炊飯器で20分でご飯も炊きあがり、省エネ性能に驚きました。

調理後はグループごとに自分たちの作ったメニューで会食し、嫌いなピーマンやにんじんも抵抗無く食べられたようです。事前に準備してもらっていたキャロットオレンジサラダ、ヨーグルトアイスも添えられました。ごみ減量プロジェクトメンバーの荒井美佐子さんが育てた



一年生も真剣に挑戦

ブラックベリーがアイスのトッピングに添えられ、ハーブの冷茶を頂き、大満足でした。

最後に、各グループごとに調理で出たごみの量を測り、一番少なかったグループにはプレゼントがありました。ごみを少なくする工夫を考える経験となりました。

エコクッキングの説明について子ども10人中、7人が「分かった」と答えており、7人が「難しくなかった」と答えているのは心づよい限りです。

11月28日(日)に第2回エコ・クッキング講座を予定しています。親子での参加をお待ちしています。

※「エコ・クッキング」は東京ガス㈱の商標登録です。



これからお味見にっこり



エコクッキングとは



生ゴミ計量競争		
グループ	ゴミの重さ	順位
オレンジ	173 g	2
あか	184 g	3
きいろ	200 g	4
みどり	168 g	1

一番少ないグループは 168g

EPO東北通信



2010年4月から環境省と財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が協働して運営しています。東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的としています。

【EPO サロン ー生物多様性ー】

EPO東北では、くらしの中から「生物多様性」を考えてもらおうと、お香や郷土食、在来野菜などさまざまな角度から取り上げ、サロンやシンポジウムを開催しています。

8月には日本の伝統芸能「香道」を取り上げました。香道は香りのする木「御香木（おこうぼく）」を使用しま



す。香木は熱帯雨林に自生する樹木が枯れゆくなかで、バクテリアなどの働きにより香りを発する木となったものです。貴重品のため一部の御香木はインド・ベトナムでは

輸出禁止になっています。

昔の日本人は微妙な香りを利き分け、香りのイメージを和歌に表現しました。和歌には必ず季節の時候、動植物が取り上げられ、季節の移り変わりや自然の恵みを大切にしてきたことがうかがえます。

参加者にはくらしの中で自然を感じながら過ごすことの大切さや、毎日のくらしと自然が密接に関わっていることを感じ取ってもらえたことと思います。

詳細レポートやイベントのお知らせはEPO東北のホームページをご覧ください。

〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-5-1 オークビル 5F
 【TEL】022-290-7179 【FAX】022-290-7181
 【Email】info@epo-tohoku.jp
 【HP】http://www.epo-tohoku.jp



あしたもともだち

どの国の物語でも、ずいぶんオオカミは悪者として登場させられています。キツネは、人を化かすもの、小ずるいものという汚名を着せられているのではないのでしょうか。このキツネやオオカミにも絶滅危惧種があり、東京都のレッドデータブックをみるとキツネもオオカミも23区の地域では絶滅、他の地区でも近い将来絶滅の危険性が高いと見られています。

ところが、古くから住宅が密集して、混雑の激しいパリ。ガーシュインの「パリのアメリカ人」のパリ。この都会でキツネが相次いで目撃されているのだそうです。無農薬や緑化作戦の影響と見られていますが、まだ広瀬川沿いにカモシカやクマが見られるなどと安心せずに、仙台もこれから真剣に考えていかなければいけないのですね。

内田麟太郎／作 降矢なな／絵「あしたもともだち」（偕成社、2000年10月）はこのごろ人気の本です。



キツネとオオカミは大のなかよし。ところが、オオカミが傷ついたクマを見つけ、キツネには知らせずに看病しているところから、この二人のなかよしにはひびが入ってしまいます。オオカミは自分が「クマを助けるやさしいやつ」なんて思われなくなかったのでしょうか。やがて、せつせと看病をしているオオカミの姿を見てキツネははなれます。・・・顔を赤くして。

乱暴な、いたずらな子どもたちの「心根のやさしさ」や友だちの内側を見つけたときのパーッときもちが晴れ、それまでの自分をふりかえる心の動きなど、短い物語の中でうまく語られています。絵もその表情をとてよくとらえています。人間を襲ったり、だましたりだけではなく、きっとキツネやオオカミは、あなたと同じように、友だちを思いやる気持ちを持っているんでしょうね。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

みやぎ生協からのお知らせ

『冬の省エネ！チャレンジ』

地球温暖化防止のために、暮らしの中でできるエコはたくさんあります。そこで、暖房などでエネルギー消費量が増える冬にこそ、さまざまな工夫で省エネに取り組んでみましょう。

1月～2月の間の1ヶ月間、「冬の省エネヒント」などを参考に省エネに取り組めます。電気・ガスの「使用量のお知らせ」（検針表）を参照して、使用量を記入します。「お知らせ」に記載されている前年同月の使用量も記入し比較します。

取り組み用紙、冬の省エネヒント集などはホームページからダウンロードすることができます。

<http://www2.miyagi.coop/about/kankyau/>（12月1日から開設予定）

問い合わせ・連絡先

みやぎ生協生活文化部くらしの活動事務局

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

e-mail : sn.mkankyok@todock.jp



MELON20 周年をめざせ！ 50 人リレートーク



第33回目の執筆者

三品茂子さん
(株式会社 三創)

私は庭作りが大好きで庭を見学する会に入会してから「庭が取り持つ縁」でたくさんの楽しい時間を持つ事ができました。

庭好きの友人がたくさんでき、庭を訪問しあって庭談義の時間はとても楽しい時間です。

私の庭は自宅だけでなく、会社の敷地でも庭を作っています。

会社の敷地は遊歩道に面しているので散歩をするご近所の方々や、お住まいとお名前も分からない方も庭談義をしたり植物の交換をしたり、話に華が咲きます。

ご近所付き合いの薄くなっている時代と聞きますが、庭作りや花や植物が楽しい時間を持ってきてく

れます、まさに庭が取り持つご縁です。

3年ほど前からは塩竈市の浦戸諸島にある野々島の「島を花いっぱいにしましょう」という活動にも参加しています。

目の前に海が広がる野々島での庭作りは心を豊かにしてくれます。

仙台に住む私がこんな素敵な島時間を持つ事ができたのも、庭友からのお誘いでした。

はじめは私だけが庭作りに行っていましたが、先日のラベンダー刈り取り作業には私の庭友、主人、主人の友人も手伝いに来てくれるようになり、どんどん「庭が取り持つ縁」が広がっています。このご縁に心から感謝感謝です。

… 次号執筆者紹介 …

柳谷明子氏
(オープンガーデンみやぎ 前会長)



毎月開催！ MELONcafe プチ講座

7月17日(土)「エッセンシャルオイルでエコな虫よけスプレー作り」

8月21日(土)「天然素材でアロマのバスボム作り」

9月18日(土)「ハーブの手練り石けん作り」



7月：ハーブの虫よけとオイルマツサージ体験



8月：重曹で作ったバスボム



9月：ハーブとはちみつの手練り石けん

毎月、「オシャレですぐにできるエコ」をテーマにさまざまなエコ体験講座を行っています。

7・8・9月はハーブに関連した講座だったため、大変好評で女性の方を中心に10名程度の方にご参加いただきました。

中でも8月のバスボム作りでは、講師にエコ家事プランナーの川村康子さんをお招きして開催しました。重曹の種類の説明と重曹を使った掃除法のご紹介があり、川村さんの楽しいお話にみなさん聞き入っていました。その後、重曹・クエン酸・片栗粉の3種類の天然素材から作るバスボムに挑戦です。アロマ水を加えながら粉を混

ぜていき容器に固めていくだけの簡単な作業で、さらにドライハーブや岩塩なども加えながら自分だけのバスボムを作りました。

川村さんのお話を聞きながら作る作業はとても楽しく、あっという間の1時間でした。講座後も川村さんを囲んでたくさんの質問が飛び、大好評の講座となりました。

プチ講座で「ぜひこんなことがしてみたい！」というご意見がありましたら、ぜひリクエストしてください。お待ちしております！



楽しみながら作りました

11月3日(水・祝) 13:30 ~ 14:30

「リメイクエッグキャンドル作り」

場所：MELON事務局

「エコフェスタ2010」 大人気 竹の小物作り！

エコフェスタ2010 ～大きく育て エコの社～

日時：9月5日(日) 10:00 ~ 15:00

場所：勾当台公園 市民広場

エコフェスタは仙台をごみゼロタウンにしようと、昭和63年から毎年開催されています。今年、MELONでは「リメイクしよう！ ～よみガエル・いきカエル・かんガエル～」と題して、竹の小物作りとキャンドルの絵付けを行いました。

竹もキャンドルも他で活用されたものを譲り受けてリメイクしました。キャンドルは結婚式場などで活用されたもの、そして竹は「仙台七夕祭り」の竹です。

七夕祭り用として、仙台市内で約3000本もの竹が使われていることをご存知でしょうか。祭りの後は八幡神社に奉納されたり、また竹灯籠や竹炭として活用される部分もありますが、捨てられている竹も少なくはありません。立派な竹は活用しなければもったいないですね。

今回は、竹の水でっぼうや竹箸、竹の花瓶、トングなどさまざまな小物作りを行いました。暑い中子どもは水

でっぼう作り、大人は竹箸作りが人気で竹が足りなくなるほどでした。

いつもは見上げているだけの七夕飾りの竹が、自分の手で小物に生まれ変わり、さらにこれからも愛用されていくと嬉しいです。

竹切りに挑戦中



箸作りやトングが人気でした

ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.47

クライメイトキャンプ開催！～全国の気候チャンピオンが宮城に集結～

期 間：8月9日～12日(月～木)

場 所：国立花山青少年自然の家(栗原市)、東北大学理学部(仙台市)、塩釜市団地水産加工工業協同組合、EPO東北ほか

参加者：気候チャンピオン20名ほか引率の先生方

前号でお伝えした「気候チャンピオン」。全国で活動しているチャンピオンが宮城県に集い、3泊4日の研修会・交流会「クライメイトキャンプ」を行いました。

東北大学理学部の教室で花輪公雄先生から地球温暖化についての講義を受けたり、塩釜市団地水産加工工業協同組合のBDFプラントを見学したほか、宮城県内で環境活動を行っている大学生との交流会を行い、先輩達からアドバイスをもらいました。また、ワークショップを通して自分達のプロジェクトを深め、「バックキャスト

ング」という手法を学びました。目標を設定し、その達成のために何をすることが必要かを振り返って考えるこの手法を体験し、「困難な目標に思っても達成できそうな気がした」というコメントがありました。

特に印象深かったのは、中国の気候チャンピオンとのテレビ会議。気候チャンピオンは世界60カ国で実施されているプロジェクトで、他国のチャンピオンとの交流は醍醐味の一つです。「英語で話すのはドキドキした。でも違う国でもがんばっている人達がいることを知って、自分のプロジェクトをさらにならばろうという気持ちになった」という感想が聞かれ、大きな刺激となったことが伺えました。

長いようであっという間の4日間。地球温暖化防止やプロジェクトを進める手法について知り、たくさんの人と出会い、友情を深め、濃密な時間となったようです。



世界最先端の研究所を見学(東北大学理学部)



大盛り上がりのテレビ会議



大学生を交えてワークショップ

(社)地球温暖化防止全国ネット代表理事に 長谷川公一センター長が就任

地球温暖化防止活動推進センターは全国各都道府県及び指定都市に設置されており(総称:地域センター)、50のセンター(2010/9/3現在)が地域での地球温暖化防止活動推進に努めています。

これまで地域センターを「連絡会」と称してセンター間の情報・意見交換が行われてきましたが、この度「一般社団法人地球温暖化防止全国ネット」として設立し、代表理事に長谷川公一センター長が就任しました。

他のセンターと協力し、地球温暖化防止に励んでまいります。

90 号の投稿テーマ

「こんな人に「エコ」の大切さを伝えたい！」

仙台は学生の街！だと思っ
ているので、学生にエコの
意識を持ってもらいたい！
未来を担い社会に与える影
響も大きいユースの世代も
積極的なエコを心がけても
らいたいです。(R)

これからママになる人、子育
て中のママ達にエコの大切さ
を伝えたい。
エコな生活を心がけること、
環境に負担の少ない商品を選
び使うことは、地球に優しく、
子ども達や家族の健康を守る
ことにもなると思います。
そういう自分もまだまだ知ら
ないことがいっぱい。新たな
エコ生活を見つけていきたい
と思います!! (M)

●食べ放題大好きな人に
エコな食事を心がけてみては
・一物全体…丸ごと全部を利用する
・身土不二…旬の食材を上手に摂る
・穀採食…ごはん・野菜・魚介類・
豆類
・腹八分目…決まった時間にほどほ
どに食べる
などが健康にもつながる基本的な考
え方です。
しかし、現在では穀採食が「国際食」
になって残念です。
自給率私たちが何とかしなくて
は・・・食べ放題のお店でもほど
ほどに (ペンネームなし)

夫。余計な知識はあるものの、理
由をつけてやらない夫にじわりじ
わりと伝えていきたい。(O山O)

伝えたい人：菅 直人
しっかりやれ～。(F)

投稿募集

91 号テーマ

「私の寒さ対策」
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

暑い夏が続きましたが、寒さ対策も重要です。暖房に頼り
きれないあなたのエコな寒さ対策をご投稿ください。

投稿方法

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等に
て MELON へお寄せください。

ケータイからの投稿は QR コードから→
ご覧いただくとう簡単です。



■締め切り：12月8日(水)

編集後記

- こんなに暑い夏だったにも関わらず、花火や海など夏らしいことは特にしないまま終わってしまいました。秋は秋らしいことをして楽しみます！（江刺家）
- わたしの最近のお気に入り、本のおまけのバッグです！柄はピンクのかわいいバラで、なんと一週間分の食料が入る大きさです。本の中身よりおまけにつられてしまいました…。(菅田)
- 毎年比較的過ごしやすい日々が多い仙台でも、近年まれにみる猛暑でした。最近では夜になると、秋の虫の鳴き声も聞こえてくるようになりました。旬の味覚を食べるのがこれから楽しみです。(三浦)
- 一気に涼しくなってきました。あの暑さは何だったんだろうか？ これで水がめの大倉ダムの少しは潤ったかな。(篠原)

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくは MELON 事務局までお問合せください。

※部会・プロジェクトの例会や活動にも MELON 会員の方は参加できます。会員以外の方も 1 回オブザーバー参加できます。

10/ 7(木)	企業&環境プロジェクト例会
10/ 9(土)	MELONcafe プチ講座 「毛糸でかわいいアクリルたわし作り」
10/11 (月・祝)	第7回 MELON 環境市民講座 「エコ芋煮会～マイ箸で地元の食材を 味わおう！！～」
10/12(火)	エコシティ仙台プロデュースプロジェクト会議
10/14(木)	情報センター運営員会
10/16(土)	水部会例会
10/17(日)	MAKE the RULE キャンペーン地域セミナー in 仙台 「地球温暖化対策をめぐる世界の動き、日本の動き」
10/23(土)	まちなかエコマルシェ 「ペットボトルキャップでプチ针刺し作り」
11/ 3 (水・祝)	MELONcafe プチ講座 「リメイクエッグキャンドル作り」
11/ 6(土)	第8回 MELON 環境市民講座 「秋の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」
11/10(水) ～12(金)	環境教育リーダー研修基礎講座
11/14(日)	環境フォーラムせんだい 2010
11/27(土)	まちなかエコマルシェ「森林クラフト」
11/28(日)	第9回 MELON 環境市民講座 「親子でエコ・クッキング」
12/18(土)	水部会例会

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

会員状況

1,034 名

法人 100

任意団体 15

個人 919

2010年8月9日現在

ボランティアポイントカードを
ご活用ください

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まると MELON 協力商品券(1,000 円分)と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。



MELON 協力商品券を
利用しましょう。

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部が MELON に寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。



この印刷物は、
輸送マイルージ低減による CO₂ 削減や
地産地消に着目し、国産米ぬか油を
使用した新しい環境配慮型インキ
「ライスインキ」で印刷しており、
印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/

